



学校だより5月号

HP : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yamashitamidoridai/>

メールアドレス : y3yamami@edu.city.yokohama.jp

学校再開に向けて

校長 安東 光

木々の新緑が鮮やかに目に映る季節となりました。私が通っている駅から学校までの道程は、どこか懐かしさを感じるのどかな風景で心が癒されます。自然の中の季節の移り変わりをつぶさに感じられる景色は、日本ならではの良さだと思います。

新型コロナウイルス感染症対策として緊急事態宣言が出され、臨時休業中の教職員たちは、「三つの密」を避けるように配慮をしながら緊急受け入れ児童や、校庭開放に訪れた児童の対応をしたり、休業期間延長に向けた家庭学習課題の準備をしたりしていました。また、臨時休業に伴い、削減してしまった授業時数分の学習をどのようにして行っていくか、今後予定されている行事をどうするのか等、知恵を出し合い、意見を交わし、いまだかつて経験をしたことのない課題解決に向けて日々忙しく過ごしていました。減ってしまった授業時数分の学習内容をどのように確保していくかは、まず全ての教職員が学習指導要領の各学年の教科、領域の目標と内容をしっかりと読み込み、教科領域の関連性を生かし、文科省の定める学習内容を満たしたカリキュラムの見直しと精選を行っています。教科書の内容を順番にしたがって全て教えようとするのではなく、本当に大切なことをしっかりと把握して限られた時間でより中身の濃い授業をしていくための準備をしています。臨時休業が続き、学校生活の再開に不安を抱えているお子さんもいるかと思えます。学校再開と同時に詰込み型の授業を行うのではなく、子どもたちがゆとりをもって学校生活に慣れていけるように、丁寧な学級開きを改めて行います。

学校行事については、7月2日、3日に予定されている5年生の西湖宿泊体験学習は、緊急事態宣言の再延長に伴い、実施が困難との判断のもと宿泊施設や旅行代理店と交渉をして9月17日、18日への延期をしました。

5月30日に予定をしていた山下みどり台小スポーツフェスティバル（YMSF）は、秋に延期実施の方向も検討をしましたが、「三つの密」を避けながら練習や当日の運営をすることや、すでに計画されている行事等の関係で延期も困難なことをふまえて今年度は大変残念ではございますが、中止とさせていただきます。全校児童が関わり、子どもたちの「本気で取り組む姿」が輝く成長の場となるYMSFの中止は、私たち教職員にとっても大変残念で苦渋の決断です。

世界的に大きな不安が続く状況が一日でも早く収束し、今まで当たり前と感じていた子どもたちの元気な声の響く学校生活が再開することを願うばかりです。保護者、地域の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。